

2016年度 第4回山口国際文化化学研究会×山口県立大学大学院国際文化化学研究科

# 文化コーディネート論 公開シンポジウム

2016年

7月25日(月)

▶open18:00 ▶start18:30

伝統文化を生かす  
～山口の創生～

場所 山口市菜香亭  
山口県山口市天花1-2-7  
☎083-934-3312

入場無料

●パネラー

城戸 宏史氏(北九州市立大学大学院マネジメント研究科 教授)  
石崎 泰之氏(山口県立萩美術館・浦上記念館 学芸専門監兼学芸課長)  
重見 武男氏(山口ケーブルビジョン株式会社 顧問)  
大東和 武司氏(広島市立大学国際学部 教授)  
文化コーディネート論受講生

●モデレーター

水谷 由美子(山口県立大学大学院国際文化化学研究科 教授  
文化コーディネート論担当)

【主催】山口県立大学大学院国際文化化学研究科  
【協力】山口市菜香亭

【問い合わせ】  
山口県立大学大学院事務室 ☎:083-928-3527  
E-mail: myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp(担当:水谷)

2016年度 第4回山口国際文化学研究会×山口県立大学大学院国際文化学研究所  
文化コーディネーター論公開シンポジウム  
伝統文化を生かす～山口の創生～

文化コーディネーター論では、外部から招聘した講師それぞれの専門の立場から、地域文化を活用した地域活性化についての事例や手法について、三回に渡り紹介されました。大学院一年生の学生はそれぞれの講師の授業を参考とし、すでに2つのプロジェクトの実践を行いました。

山口には伝統文化、歴史、産業、人物そして国際交流の実践など貴重な地域資源の宝庫ですが、地域内外であまり知られていないという現状があります。今回のシンポジウムでは、このような視点から国際交流や地域資源同士のマッチングをした芸術イベントなどを通して、山口の地域創生の可能性について、パネラーやフロアーの皆様との活発な意見交換を行いたいと思います。

皆様お誘い合わせの上、ご来場頂きますようよろしくお願い致します。



「姉妹友好都市を知ちよる？」

姉妹都市にまつわる情報があまり浸透しておらず、認知度が低いため、山口県民を対象にしたさらなる交流の必要性に直面した。ゆえに、各国の現状を伝え、観光促進のための案内や展示物などを設ける予定である。山口県立大学地域交流スペースのユッカで双方にとって有意義と思われる国際交流イベントを実行しました。

国際文化学研究所  
ビジュアル・エド・エライ  
柳 蘇賢  
李 丹



水墨画でつながるひと。伝統。文化。

常栄寺雪舟庭にて「水墨画と出会う雪舟庭の夏～つどう・えがく・かたる～」のイベントを開催した。雪舟を皮切りに、水墨画や赤間硯、徳地和紙、雪舟庭などを多くの地元民に知ってもらう水墨画のワークショップや伝統工芸品などの展示会、トークショーを通じて、異なる文化や分野の交流について考察を試みる。

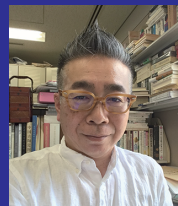
国際文化学研究所  
荒木 麻耶  
袁 夢  
小方 礼次  
張 潔



「地域資源としての伝統文化の可能性」

「地方創生」が政策的課題となる中で、地域資源の掘り起こしや活用(磨き)への関心が高まっている。そこで、様々な地域資源の活用成功事例を紹介しながら、まずは地域資源の掘り起こしのポイントを確認したい。そのうえで、地域資源としての伝統文化の可能性について、経営戦略の視点から検討を試みたい。

北九州市立大学大学院  
マネジメント  
研究科教授  
城戸 宏史



地域の文化資源と創作支援  
—現在形の陶芸 萩大賞展の実施

陶芸の創作能力(素材・技術・造形思考)の喚起を目的に企画された公募展事業(現在形の陶芸 萩大賞展)は、地域の陶芸家の表現力にどのように影響したか。地域の文化資源である萩焼の伝統性を鑑みるなかで、創造することの純然たる力能としての個性の自覚とその内発的開花を支援する意味をコーディネート論的に考察する。

山口県立萩美術館  
・浦上記念館 学芸  
専門監兼学芸課長  
石崎 泰之



ビジネス自分史と地域デザイン

社会人基礎力を発揮するためのツールの一つである自分史を活用した地域デザインへの試みを行う。自宅周辺の今と昔のマッピングにより、記憶の中にある「まち並み」や「暮らしぶり」から、受け継いでいくべき「まちの魅力」を共有するとともに、現代的な課題を付加させ、「まちのあるべき姿」を考えるきっかけづくりとした。

山口ケーブルビジョン(株)顧問  
重見 武男



地域の伝統文化における企業の役割

地域文化の形成には、異なる文化の受容、そして創造という側面がある。グローバル化が進んでいる今日、企業が地域の伝統文化を継承しながら、どのように製品等の革新につなげてきたのかについて、筆産集積地、広島・熊野の事例などを通して考察したい。

広島市立大学国際  
学部教授  
大東和 武司

【問い合わせ】

山口県立大学大学院事務室  
☎:083-928-3527  
E-mail : myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp(担当:水谷)

○アクセス  
山口市菜香亭  
〒753-0091 山口市天花1-2-7  
☎083-934-3312  
<http://www.c-able.ne.jp/~saikou/>  
・自動車／行動9号線沿い新山口駅から24分  
・路線バス／野田学園前バス亭下車、徒歩2分  
・JR山口線／上山口駅下車、徒歩14分

